



健やかで生き生きとした 暮らしのあるまち

【健康福祉】

時代が移り変わっても、だれもが自分らしく生き生きとした暮らしを営んでいくためには、一人ひとりの生活環境に合わせたサポートが必要です。

少子高齢化が進展する中、子育て世代にやさしい環境を作り、「子育て応援日本一」をめざす幸手市では、家庭や地域と連携し、安心して子育てができる環境づくりを重点課題ととらえ、積極的な子育て支援を図っています。

保健福祉総合センター内の子育て総合窓口には助産師・保育士が常駐し、専門員による妊娠・出産・子育てに関する相談をお受けしています。

また、子育て応援サークルへの助成や中学生までの医療費の無料化、学校給食費の補助を行うなど、経済的な支援も行うことで安心して子どもを生み育てられるまちの実現をめざしています。

市民一人ひとりが生きがいを持ち、いつまでも住み慣れた地域で心身ともに健康で安心した生活が送れるよう、特定健診や各種がん検診のほか、専門医による講演会や各種健康教室による健康づくりのサポートを行っています。

また、適切な介護保険サービスの提供、地域包括支援センターの相談・支援体制の充実など、医療・福祉サービスの向上にも力を入れていきます。

A City with Lively and Healthy Living 【Health and Welfare】

Personalized support is necessary for each and every person to be able to live the kind of healthy lifestyle that they hope for, even as the times continue to change.

Here in the city of Satte we are aiming to become "The Most Child-friendly Town in Japan" by creating an environment suited to raising children in the current age of declining birth rates.

In order to live a lifestyle which keeps your mind and body safe and healthy in an area which will always be your home, and to have each person having a purpose in their lives, we provide health care support through various types of health classes and workshops taught by medical specialists, as well as specific medical examinations and cancer screenings.



【子育て支援センター事業】

市内に3か所ある子育て支援センターでは、子育て中の親子同士がふれあえるさまざまなイベントを開催しています。



【めざせ！毎日10000歩運動教室】

いつまでも心身ともに健康で安心した生活が送れるよう、ウェルス幸手を拠点に各種健康教室を開催しています。

平成27年度から新たに「埼玉県健康長寿モデル」を用いて実施しているこの教室では、健康づくりだけでなく、参加者同士の交流も盛んに行われています。



【子育て総合窓口】

子育て中のパパ・ママが、より気軽に相談ができるよう、「子育て総合窓口」をウェルス幸手内に開設し、専門員による子育て支援・子育て相談をワンストップで行っています。



地域の特性を活かした 快適で特色あるまち

【都市基盤】

A Pleasant and Characteristic City which makes use of its Special Regional Qualities 【Foundations for Urban Development】

Establishments which adequately utilize the characteristics of our regional history and nature are necessary in order to achieve an even better living environment.

We aim for planned land usage while considering the creation of an environment of rich greenery, water and the formation of scenery which is in harmony with the rural landscape.

Until now, establishments have been made around the Ken-O Expressway (the Metropolitan Inter-City Expressway) interchange which is expected to make a large contribution to the local economy. In March 2015, the Satte interchange became the new gateway to Satte city.

より良い生活環境の実現に向けて求められるのは、自然や歴史など地域の特性を十分に生かした整備です。

幸手市では、田園と調和した景観形成や水と緑の潤いのある環境づくりに配慮し、計画的な土地利用をめざしています。

これまで、地域経済の発展に大きな貢献が期待される圏央道（首都圏中央連絡自動車道）インターチェンジ周辺の整備を行ってきました。平成27年3月には、幸手市の新たな玄関口として幸手インターチェンジが開通し、インターチェンジ東側の幸手中央地区産業団地も平成28年6月には企業への引き渡しを行いました。

また、もう一つの玄関口である幸手駅周辺においては、幸手駅舎の橋上化・自由通路整備による利便性の向上や駅西口地区の住環境改善を図るため、土地区画整理事業による西口駅前広場、道路、公園などの整備を進めています。

さらには、まちづくりの骨格を成す道路網や橋梁、上・下水道の整備を進めるなど、便利で安全な市民生活の実現をめざしています。



【自由通路及び橋上駅舎の整備（幸手駅）】
平成31年3月の利用開始に向け、鉄道により分断された幸手駅東西地区を結ぶ自由通路及び橋上駅舎の整備を進めています。



【圏央道幸手インターチェンジが開通】
平成27年3月には、幸手市の新たな玄関口として、圏央道幸手インターチェンジが開通しました。



【計画的な橋梁の修繕】
市の東側を流れる中川に架かる老朽化した橋梁の計画的な修繕を行っています。



【道路網の整備】
圏央道幸手インターチェンジの開通に併せ、側道の整備を行いました（写真／上高野通り）。



【デマンド交通】
市民の新たな公共交通手段として、平成28年度から新たにデマンド交通の運行を開始しました。